

北海道帯広農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスchool宣言 PartⅡ)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	1 「生徒一人ひとりを 一層輝かせ成長させ る教育」を行います。	(1)資格取得や検定合格を通じた自己肯定 感の向上を推進する (2)プロジェクト学習や農業クラブ活動を 通じた主体的学びを推進する	(1)日本農業技術検定や各 種資格取得を継続的に推進 し、昨年度同様に多くの生 徒が合格している。 (2)農業クラブ活動を横断 的に展開し、主体的な学び の定着や生徒の自己肯定感 や学習意欲が向上してい る。	(1)資格取得に向けた計画 的学習のさらなる充実を図 るとともに、ICTを活用し た学習支援の拡充する。 (2)高大連携や農業クラブ 活動をより深く、探究的学 びを強化する仕組みづく り。	4
	2 「世界と日本をつな ぐグローバル教育」 を行います。	(1)国際交流や研修を通じた多文化理解と 視野の拡大を推進する (2)グローバル基準に基づいた農業技術の 実践力育成に取り組む	(1)海外農業研修(6名参加) やJICAとの連携による国際 交流(4名来校)、農業クラブ 活動等での連携を継続し、 国際感覚を育成する。 (2)GAP取得後のプロセスを 見直し、持続可能な農業経 営の理解を深める取組を推 進している。	(1)海外研修の機会を増や し、より多様な文化理解を 促進する。 (2)GAP取得後の実践的活用 を強化し、持続可能な農業 モデルを確立する。	4
II 地域社会・産業 に寄与する学校	3 「地域農業の生産を 支える教育」を行いま す。	(1)地域農業の担い手育成を目的とした生 産技術の習得を推進する (2)衛生・安全管理を重視した農業経営の 学習に取り組む	(1)新規就農プログラムや 産業界との連携による実践 的な授業を継続し、知識・ 技術の習得が定着してい る。 (2)JGAPやHACCPを授業に組 み込み、衛生意識と倫理観 を強化している。	(1)地域農家や産業界との 連携をさらに広げ、教育の 質を向上させる。 (2)HACCP等の実践的理解を 深めるための教材整備を行 う。	5
	4 「地域の農業関連産 業や6次産業化に寄 与する教育」を行いま す。	(1)地域の特産品を活かした6次産業化の 推進に取り組む (2)地元企業や関係機関との連携による商 品開発力の育成を推進する	(1)生産から販売までの一 貫した学習を継続し、地域 ブランドづくりに貢献して いる。 (2)産業界との連携を強化 し、継続的な商品開発と小 売店での販売実践を推進し ている。	(1)商品開発の高度化と マーケティング力の育成を していく。 (2)小売店販売の継続体制 とICT活用による販促強化 をしていく。	5
III 地球環境を守り 創造する学校	5 「地球環境を守り、 創造する教育」を行 います。	(1)環境にやさしい農業技術と資源循環の 理解を推進する (2)持続可能な地域づくりに貢献する実践 的な環境学習に取り組む	(1)家畜排せつ物を活用し た堆肥づくりを推進し、循 環型農業を実践している。 (2)GAP管理を通じて環境負 荷を減らす農業手法を継続 的に学習している。	(1)施設設備の維持管理と 効率化を図る。 (2)環境教育の体系化と意 識付け強化を推進する。	4
	6 「地域資源を活用 し、地域振興の拠点 となる教育」を行いま す。	(1)地域の森林や農場を活用した教育活動 を推進する (2)地元との連携を通じた農業イベントや 講師を招いた特別授業に取り組む	(1)学校林の伐採から販 売、再造林までの流れを学 び、地域林業に貢献してい る。 (2)地域イベントや特別授 業を通じて食農教育を展開 している。	(1)ICTを活用した林業教育 の充実を図る。 (2)地域イベントの継続体 制整備を図る。	4
IV 地域交流の拠点 となる学校	7 「Society5.0の時代 に応じた教育」を行 います。	(1)ICTやスマート農業機器を活用した農 林業教育を推進する (2)地域課題の解決に向けたプロジェクト 型学習を推進する	(1)温度管理システムや牛 群管理システムを活用し、 リスク管理を実践をしてい る。 (2)林業機械やGPS技術を活 用した省力化・効率化の実 習を継続している。	(1)ICT活用の高度化とデー タ分析力の育成を図る。 (2)産業界と連携しスマー ト農業の推進と機器の導入 拡大を図る。	4
V 地域防災を推進 する学校	8 「地域防災を推進す る教育」を行いま す。	(1)災害に強い農業・林業の実践を推進す る (2)防災意識と危機管理能力の向上に取 り組む	(1)演習林を活用し、都市 部における安全な森づくり を実践。スマート技術を利用 した風雪害に強い森林づ くりを推進し、災害に強い 林業モデルの取組。 (2)危機管理マニュアルを 活用し、防災訓練を全校で 実施。	(1)防災教育の体系化と地 域連携強化。 (2)災害時対応設備の確認 とスマート技術のさらなる 活用の検討をしていく。	4